

科目名	クライスマネジメント学特論		D3-219	担当教員名	大磯 義一郎
単位数	1単位		選択	配当年次	1年次・第2 Semester(後半)
曜日・時限	水曜日・5限目		教室	オンライン授業	
授業概要	<p>クライスマネジメント(以下「危機管理」)は、想定外の危機的状況に対して被害を最小限にとどめ、安定した定常状態に移行させることを目的とする。医療における危機管理は、セーフティマネジメント・リスクマネジメントに立脚した対応が必要である。実際に起こった事例や提示されたシナリオについてグループディスカッションを行い、危機管理について理解を深め、危機的状況に対応できる医療者の育成を目標とする。</p>				
到達目標	<p>1) 危機管理学の成り立ち・目的・役割・手段を説明できる。医療における危機管理の目的を説明できる。  2) セーフティマネジメント・リスクマネジメントに立脚した危機管理体制を構築する必要性について理解できる。  3) 想定外の危機に直面した時の医療者に必要な資質を身につけることを最終的な目標とする。</p>				
回	日程	見出し	内 容		実践的な 授業方法
1	12/1	危機管理学 総論(1)	セーフティマネジメント・リスクマネジメントにおける危機管理について講義する。実際の事例を題材に医療事故発生時の対応について学ぶ。 [グループディスカッション]		○
2	12/8	危機管理学 総論(2)	医療における危機管理の特殊性について講義する。実際の事例を題材に医療事故発生時の対応について学ぶ。[グループディスカッション]		○
3	12/15	医療事故への対応(困難事例(1))	事例を用いて、医療事故発生時の医療者としての対応について学ぶ。 [グループディスカッション]		○
4	12/22	医療事故への対応(困難事例(2))	事例を用いて、医療事故発生時の医療者としての対応について学ぶ。 [グループディスカッション]		○
5	1/12	医療事故当事者に対するケア	医療事故当事者となった医療者へのメンタルケア・ピアサポートについて学ぶ。 [グループディスカッション]		○
6	1/19	医療クライスマネジメント再考	他業種における既存のクライスマネジメント、クライシスガバナンスが医療現場に適用可能かその理論的背景から考察する。 [グループディスカッション]		○
7	1/26	腎・透析領域における危機管理	専門領域である腎・透析領域を例に挙げ、他の医療現場での危機管理を概説する。(特別講師:椿原美治)		
8	2/2	大規模災害時の危機管理	頻発する震災、台風、大規模停電などの大規模災害時における透析領域での対応を例に挙げ、他の領域での危機管理を概説する。 (特別講師:赤塚東司雄)		
キーワード		危機管理、医療事故、大規模事故、災害、想定外		履修条件	なし
教材等	教科書(要事前購入)	教科書は特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配付する。			
	参考書(任意購入)	設定しない			
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①授業・グループ演習への参加・貢献度(30%)、 ②レポート(30%) [授業内容を十分に理解しているかを評価します。]、 ③プレゼンテーション(40%) [完成度はグループとして評価します。]			
授業時間外に必要な学修		医療にかかわらず、日常的に起こりうる想定外の事態を意識して、対応を考えてください。			
学生へのメッセージ		柔軟な思考を期待します。活発なグループディスカッション、グループワークでは既成概念にとらわれない討論を歓迎します。			

※ 授業の日程については変更する場合があります。